

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する企業・業界団体等との連携により、必要となる最新の知識・技術、技能を反映するため、企業業界関係団体等からの意見を十分生かし、カリキュラムの改善等の教育課程の編成を行う。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
 上記方針に則り、学院長の下に教育課程編成委員会を置き、全学科の教科編成について、実務における重要事項が該当する学科のカリキュラムに反映されているかを確認する。指摘を受けた内容について、各学科にて詳細検討を行う

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
徳田 昭彦	竜之介動物病院院長・九州動物学院学院長	2019年4月1日～2021	
山田 進二	九州動物学院顧問	2019年4月1日～2021	
本田 公三	九州動物学院副学院長	2019年4月1日～2021	
今村 絵里花	ペット美容室ペリート代表	2019年4月1日～2021	③
釜場 孝一	熊本県人吉保健所獣医師	2019年4月1日～2021	①
前田 しのぶ	イノセントランド代表	2019年4月1日～2021	③
合志 潤子	たかた動物病院看護師長	2019年4月1日～2021	③
眞邊 哲也	あーす動物病院院長	2019年4月1日～2021	③
山中 彩紗子	ドッグトレーニングacyaco代表	2019年4月1日～2021	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 9月・3月開催

令和元年9月27日 14:00～15:00 済

令和2年4月3日 14:00～15:00 済

令和2年9月25日 14:00～15:00 済

令和3年3月19日 14:00～15:00 (予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

(別途、以下の資料を提出)

- * 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- * 教育課程編成委員会等の規則
- * 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- * 学校又は法人の組織図
- * 教育課程編成委員会等の開催記録

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実習・演習等は専門学校の根幹なす重要なものである。よって常に最新の技術を指導する必要がある、そのため企業と密接に連

携した体制を築き、より実践的な職業教育となるように努める。連携を行う企業とは、職業実践教育協定書(講師契約書)を取り

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

上記基本方針に則り、次の項目について連携を行う。

①カリキュラムの作成 ②講義及び実習の実施 ③講義・実習教材の作成 ④成績評価及び進級審議等に関する助言 ⑤その

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
動物外科看護学	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術中	竜之介動物病院
動物臨床検査学	生体より得られる血液・糞便・尿・細胞等を用い	竜之介動物病院
動物臨床内科学 実習	チーム獣医療の中で動物看護師がどのような視点で看護を行うべきか症状別の看護のポイントを学ぶ。症状別・臓器看護に加え、生理学を振り	竜之介動物病院
トリミング実習	診療現場に必要な観察力及び看護法に関する基本的手技を身につけ、グルーミングが与える動物への効果を学び、様々な犬種、猫種や状態	ペットサロンペリート
動物看護総合実習	チーム獣医療の現場から診療の流れ、専門職としての役割を体験し、臨床現場ならではの臨場感を体験する。いままで修学した知識と技術、コ	たかた動物病院

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

1教員等の研修に関する規定により本学院の教育職にあるものは、各自が担当する授業の分野に応じ、企業との連携の上で、高度化多様化する理論及び新技術の等について研修に努めなければならない。

学院長は、教育職にある者に対し、教員の業務の経験や能力を勘案し、日常の業務を通じて必要な研修を命令する。また、事前に計画し学院長に承認を得たものは企業と連携した研修を認めている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「動物愛護行政について」(連携企業等:熊本市動物愛護センター)

期間:令和元年6月5日(水) 対象:井上竜一、橋本沙耶、後藤翔太

内容:熊本市の動物の保護、譲渡、処分等の状況について

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「観光牧場の運営について」(連携企業等:阿蘇ミルク牧場)

期間:令和元年6月5日(水) 対象:井上竜一、橋本沙耶、後藤翔太

内容:阿蘇ミルク牧場の運営状況

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「熊本県の動物愛護行政について」(連携企業等:熊本県動物愛護センター)

期間: 令和2年8月24日(月) 対象: 井上竜一、橋本沙耶、後藤翔太

内容: 熊本県の動物の保護、譲渡、処分等の状況について

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「愛玩動物看護師カリキュラム等検討会」(連携企業等: 環境省、農水省、全国動物教育協会、動物看護師統一認定協会)

期間: 令和2年8月24日(月) 対象: 本田公三

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表しているこ

(1) 学校関係者評価の基本方針

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため、九州動物学院関係者評価会議設置要綱に則り、自己点検評価を実施する。

実践的な職業的教育を目的とした、自らの教育活動その他学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価を行うことが目的となる。また、卒業生業界団体の学校関係者を選任

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学院基本情報、学院沿革、教育理念、教育方針等
(2) 学校運営	各学科の定員及び修業年数、カリキュラム、取得可能な資
(3) 教育活動	教職員数、教職員の組織、教員の専門性
(4) 学修成果	キャリア教育への取組状況、企業と連携した実習・演習、イ
(5) 学生支援	学校行事の取組、様々なボランティア活動
(6) 教育環境	学生支援の取組状況
(7) 学生の受入れ募集	学生納付金、活用できる経済的支援措置の内容等
(8) 財務	財務諸表
(9) 法令等の遵守	自己点検評価・学校間者評価の結果
(10) 社会貢献・地域貢献	学院が用意する各種ボランティア活動
(11) 国際交流	海外研修における現地大学・専門学校との交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

①教育目標・人材育成像が分かる工夫【意見対応状況】教育目標を学生が毎日登校を記入する受付前に貼りだして目にするように工夫した

②校務分掌の明確化が必要ではないか【意見対応状況】詳細な事務分掌と正と副担当を明確にした

③進級、卒業の判定基準が必要【意見対応状況】基準を明確化して示した

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2020年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
藤井 琢磨	熊本県獣医師会副会長・総合動物病院デーリー院長	2018年9月30日～2020年	業界団体
芝田 猛	東海大学名誉教授	2018年9月30日～2020年	専門家
本田 敏裕	熊本県獣医師会菊池支部幹事・アーマル動物病院院長	2019年4月1日～2021年3	企業・専門家

松尾 正直	九州訓練士会 常任幹事・松尾愛犬訓練学校校長	2018年9月30日～2020年	業界団体
井上 竜一	九州動物学院同窓会幹事	2019年4月1日～2021年3	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ

URL <https://kyudo.ac.jp/>

公表時期: 令和2年5月(令和元年度版) 令和2年10月末予定(令和2年度版)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本学院ホームページ等において積極的に公開しているが、学校行事等に関してはフェイスブックにて適宜情報公開を行っている。特に関連する企業及び外部講師に対しては年2回の会議を開催し、その際、学院長から学院概要・運営方針等を説明し実務教育及び教員研修における連携依頼や学生の就職研修先の紹介依頼等様々な教育活動の情報公

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学院基本情報、学院沿革、教育理念、教育方針、学校概要
(2) 各学科等の教育	各学科の定員及び修業年数、カリキュラム、取得可能な資格
(3) 教職員	教職員数、教職員の組織、教員の専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、企業と連携した実習・演習、イ
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事の取組、様々なボランティア活動
(6) 学生の生活支援	資格取得支援、就職支援等
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、奨学金制度、学費分納に関すること
(8) 学校の財務	財務諸表、監査報告書
(9) 学校評価	自己点検評価公表。学校関係者評価公表
(10) 国際連携の状況	海外研修における現地大学・専門学校との交流
(11) その他	学校運営に関するその他の情報

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物

URL https://kyudo.ac.jp

(別途、以下の資料を提出)

* 情報提供している資料

学院案内パンフレット、募集要項、事業計画、事業活動報告書(学生数、就職数、資格取得状況等)

事務担当責任者

フリガナ	ホンダ コウゾウ	所属部	九州動物学院
氏名	本田 公三	役職名	副学院長
所在地	〒860-0811 能本中央区本荘6-16-34		
TEL	096-362-0111	FAX	096-362-1116

E-mail	k-honda@kyudo.ac.jp
--------	--------------------------------------------------------------